

(活動報告書様式)

団体名	NPO法人ひらた里山の会		
事業名	竹林整備と竹炭の活用で未来につなごう美しい里山		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：山形日産 子どもから大人まで環境にやさしい社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	584,435円
		うち助成金額	450,000円



■事業目的

酒田市山楯の竹林は、荒廃が進み里山の生物多様性が失われてきている。

里山の会と中学生との協働作業を通じて、多様な生物が共存できる環境の大切さを学び、毎年の整備が継続可能な仕組みづくりをつくる。

■事業内容

- ①東部中1学年を対象にした竹林整備体験活動
実施日：6/28、7/4、7/5
参加者：中学生70人
講師・スタッフ36人
- ②東部中1学年里山教室
実施日：9/11
参加者：中学生70人
講師・スタッフ6人
- ③竹林竹柵整備
実施日：9/19
参加者：会員スタッフ6人
- ④竹割節取作業

実施日：9/19、10/3、10/5、10/12、10/18

参加者：会員スタッフ19人

⑤炭焼き作業

実施日：11/6、11/7、11/8

参加者：会員スタッフ6人

⑥ワークショップ「私たちが目指す森の楽しさ」開催

実施日：11/23

参加者：70人

■事業の成果

- ①地元の中学校の自然体験学習として毎年実施してきたことで、里山の役割や森の大切さ、環境保全の重要性への理解が進んだこと。
- ②適切な竹林整備と管理を行うことで、美しい竹林となり、タケノコが取れる竹林になることを学び、隣接する荒れた竹林の整

備の必要性を指摘してくれたこと。

- ③間伐した竹林から竹炭ができ、バーベキューコンロなどの燃料としてだけでなく、土壌改良剤としても活用できることを学んだこと。

■今後の展望

里山整備活動は、毎年の定期整備活動が継続できるかにかかることから、活動できる会員を確保し育てられるかが、事業の成果と継続に影響する。

活動に参加できるスタッフの人数に見合ったエリアを設定し、成果の見える化を図り、里山イベントなどの交流会事業を実施し、里山整備の必要性への理解を広げ、ボランティア活動への参加者の増加につなげていく必要がある。